

## 中国 訪問考

(協)熊谷流通センター  
専務理事 及川 亨



昨年、中国・北京に行く機会があり、その時に感じたことをお話ししようと思います。

中国に到着して最初に驚かされたことはビルの多さです。市内はもとより郊外にまでオフィスやマンションが立ち並び、さらに建設途上にあるものがいくつもあります。現地ガイドに聞くと市内に通勤できるマンションの売れ行きが好調なのだそうで、家具や自動車も付随して売上が伸びているそうです。街中すべてが活気にあふれているように感じました。次は観光場所です。ここではあらゆる土産物を売りつけようと現地の人々が群がります。関心がある素振りを見せようものならこちらが買うと言うまで付いて来ます。その間、売値はどんどん下がっていき

ます。原価はいったいいくらなのだろうかと心配にもなりますが彼らはいっこうに気にしません。その上、彼らの話す日本語は片言ですが十分通じます。誰に教わったのでもないのですが実に粘り強い商売をしているのです。日本であれば、「仕入れがいくらだから売値はせいぜいこのくらい」と決めるのではないかと思います。彼らにそんなものはありません。「(いくらであろうが)提示された値段で(希望者が)買いたいかどうか」が基準になっているようです。国民性かどうかはわかりませんが今の日本人にはない「したたかさ」を痛感しました。トイレについては水洗化が進んでいました(もちろん市内の著名施設中心の印象だけですが)。但し紙を備えて

### トピックス 2p

新年会開催・第27回青経会通常総会・大規模災害時対応プロジェクトチーム活動について

### トピックス 3p

2010年3月末の株と円の大予想

### ニュース 4p

青経会例会

いないところが多く、日本からいらしたご婦人方はロールのトイレトペーパーを持参されて観光を続けている方も多かったと記憶しています。インフラだけの問題だけではなく、貧しさゆえに備品は持っていってしまうのかなという印象を受けました。

以上、「活気にあふれて」「したたかな」「ルールも含めた改善がさらに必要な」中国を肌感じてきたところです。ところで中国は、言うまでもなく「共産主義国家」です。しかし貧富の差は日本以上にあり、そのような中で、皆が成功者(富裕層)を目指して懸命に努力している生活ぶりには活力があります。かつて日本が経験した「高度経済成長時代」を髣髴とさせるものかもしれません。その「がむしゃらな」姿勢はとても迫力があり、ある意味で日本より資本主義的な国だなあと感じるとともに、これが今の日本との「国力の差」なのかなあと思った出来事でした。

町の魅力はハード整備だけではよみがえらないという結果である。昔、町がにぎやかだった頃は、人と人のコミュニケーションが活発だった。そのふれあいの場が商店街であり、広場だったのである。時代は変わっても、自分が共感すること、ワクワクするところには自然と足が向く。そのしなやかな地元の熱い人々が自ら行うからこそ、人は魅力を感じるのだろう。毎週のように開催される、心のもった地域のイベントは、町の活性化の起爆剤として、新たな元気を生み出している。さて今日はどこに出かけようか。 広報等小委員 孫田記

手作り市やB級グルメ対決等、地元住民が自ら企画運営しての地域起こしが盛んだ。普段は閑散としている町に、どこからこんなに人が集まってくるのだろうと感心する。休日には、JRの駅から数時間かけて町の隠れた魅力ある場所を散策するイベントも、多くのアクティビティで盛況だ。一昔前は、国の政策で補助金を使った町並み整備が全国で行われた。たしかに道路はきれいになり、おしゃれな街灯も取り付けられたのだが、肝心の人はいっこうに集まっていかなかった。



Photo Essay



当組合恒例の新年会は、1月15日午後4時より組合会館3階に於いて、御来賓・組合員総勢55名の出席を得て盛大に催されました。

## ◆ 平成22年新年会開催 ◆

及川専務理事の司会により、大久保理事長の新年の挨拶に続き、富岡熊谷市長・工藤行田市長、ほか御来賓各位の祝辞を頂きました。来賓14名の紹介のあと、杉田熊谷市議会議長代理と大河原行田市議会議長お二人の乾杯の発声により懇親会に移りました。

組合員同士の挨拶や、御来賓と

組合員が歓談する姿もみられ、和やかなうちにお互いの団結・親睦を深めたひとときでした。



## 第27回青経会通常総会開催

熊谷流通センター青経会は、去る1月27日(水)第27回通常総会を開催しました。

小林代表幹事の挨拶の後、同氏を議長に選任し、平成21年度事業実績・同収支決算案を審議、可決承認された。続いて、平成22年度事業計画・同収支予算案も、全員の承認を得て可決承認されました。



22年度の事業方針は、経営委員会は「自企業を取り巻く様々な環境への対応を考える」を、交流委員会は、「会員に活力を提供

する」をそれぞれテーマとし、活動していく事となりました。

引き続き、大久保和政氏が退会(会則による年齢規定)にあたり挨拶をされ、新入会員不破貴史氏の紹介と21年度例会皆勤賞6名の会員の表彰を行い総会は終了しました。

総会終了後、ご来賓としてお招きした商工中金柴崎支店長からの御祝辞と乾杯のご発声で、新年懇親会となりました。情報交換等和我やかな宴の中にも、更に厳しさを増す経営環境に対して会員同士一層結束を強めこの難局を乗り越えていく事を約束し散会となりました。

### 青経会平成22年度事業計画

1月27日	総会
2月24日	講演会・櫻井よしこ氏
3月9日	研修例会/経営委員会
4月9日	親睦ゴルフ
6月8日	研修例会/経営委員会
7月3日	視察研修 ~5日
8月6日	交流会(交流委員会)
10月5日	研修例会/経営委員会
12月7日	交流委員会
12月21日	スタッフ会議

## 大規模災害時対応プロジェクトチーム活動について PART II

(略称 災害対策チーム)

大規模災害時対応プロジェクトチーム 委員長 大久保 和政

前回「ソシオ熊谷」ニュース137号(新年号)で、当チームのキックオフをお知らせしましたが、今回は本年3月迄の活動状況について皆様にご報告しようと思います。

### 1. 実施したこと

#### 委員会開催

大規模災害に襲われたときに必要となる設備・機器を検討する「設備検討小委員会」と同じくルールを検討する「ルール検討小委員会」、2つの小委員会の調整と総括を行う「常任委員会」を決め、21/11~22/3の間に委員会を3回開催しました。

### BCP

コンサルタント(埼玉県中小企業団体中央会さんからご紹介をいただいた講師で辻田先生といいます)の指導を受け、組合および、藤沢商事さん、清水アーネットさん、ムトーセーフさんの3組合員が参加、BCPの基本計画策定を目指し努力を続けております。

現在は2回の講義を終え課題を提出中で、4月から実地指導を受ける予定となっています。

### 2. 判ったこと

当団地周辺で予想される災害…(立正大学中村助教の講演から)

### 一、地震

地震は震度の大きさから

- ①「深谷断層」震度6、
- ②「関東周辺の大規模地震」(関東大震災クラス)震度5、
- ③「東海以西・東北以北を震源とする地震」震度4です。

この先(数年後に)発生する可能性①~③共に不明。

### 二、洪水

組合周辺の地質は「沖積低地」となっており、荒川上流や熊谷市内で予想を越えた豪雨が続いたような場合は浸水被害となる可能性があるそうです。



# 2010年3月末の株と円の大予想



## 株価予想の部

民主党に政権交代し、大いなる希望が落胆へとかわる今日この頃。株価はまったく不可解な動きを見せている。デフレ経済、依然高い失業率、ガソリン価格の上昇など、ひろく国民に先行きの不安をあたえている。

日銀の短観が4月1日に発表されたが、「円安・外需 景況感支える」の見出しがすべてを物語っている。「ただ内需の自律回復力は乏しく、デフレの元凶である需給ギャップもなお巨額。連立政権の政策への不安も影を落としている」と解説。実感なき回復に個人の消費行動は鈍い。

また日本の財政・債務状況は、少子高齢化、年金債務、医療保険債務などの悲観的な状況から“Japan”は“Japan(日本) + pain(苦悩) = Japain”と海外から

懸念されているにもかかわらず、日本株は堅調に推移している。

ある準大手証券会社のトレーダーは「ユーロ安に対するヘッジで日本株が買われている可能性がある。ポジティブな買いだけではなさそう。一方で中国経済の不透明感などからアジア勢の買いは細り、海外勢全体の勢いは鈍化し

ている」との見解。個人投資家の動きも鈍く、上値を買う主体が不在となっている。

みなさまの予想も1万1000円以上を予想された方は33人中わずか4人。1万円以下を19人が予想、「二番底」をいかに多くの方が警戒されていたか、推測される結果となった。

株価 11,089.94円 (3月末終値)			
順位	役職・会社名	氏名	株価/円
1	監事	不破 武久	11,000
2	(株)雄飛堂	西村 正	10,800
3	副理事長	藤沢 貞彦	11,500
3	イーテクノス(株)	久保田 努	11,500
5	理事	中沢 実	10,650
6	理事	小菅 克祥	10,650
7	(株)ヨシミ総合サービス	田沼 佳夫	10,555
8	(株)埼玉エヌテーエヌ	小川 栄一	10,550
9	副理事長	清水 龍男	10,500
10	東邦薬品(株)	小高 敏博	10,400

## 円相場予想の部

「ソブリンリスク」という言葉を新聞で見られた方も多いと思う。ソブリンリスクとは国家の信用リスクのことでデフォルト(債務不履行)に陥る可能性のこと。デフォルトの懸念が増すと、国債などが売られ長期金利が上昇して投資や消費が減退するケースが多い。ソブリンリスクの震源地はギリシャ。ギリシャ経済の見通しが弱いために同国の金融システムは引続きリスクにさらされているとスタンダード&プアーズが警告。

一枚岩のようにみえても、ユーロ圏は所詮集合体。ユーロ圏の地中海沿岸諸国ピッグス(PIGS: ポルトガル、イタリアとアイスランド、ギリシャ、スペイン)は、ユーロ発足当時からのアキレス腱だった。

「欧州ソブリン債に対するあらゆる不安が、投資家をドル買いに向かわせている」と市場アナリスト。“有事のドル買い”は今も生きているということか? 1ドル88.43円の年初来の円高から一転

ドル買いに潮目が変わり、約5円上昇し3月末を迎えた。

予想全般100円未満の予想が99%。100円未満90円以上を予想した人が半数にも上り、株価予想よりも接戦となった。

円相場 93.4599円 (3月末終値)			
順位	役職・会社名	氏名	円相場/円
1	(株)飯田屋商店	飯田 哲一	93.66
2	コマツリフト(株)	持田 晴夫	93.12
3	理事	中沢 実	94.00
3	理事	藤間 憲一	94.00
5	監事	渡辺 優	94.32
6	理事	宮川 進	92.00
6	(株)LFS	須山 隆	92.00
6	東邦薬品(株)	小高 敏博	92.00
9	理事	石山 洋一	95.00
10	事務局長	仲俣 巧	91.50

## 熊谷中金会総会



熊谷中金会の第30回定時総会は、2月24日ホテルガーデンパレス熊谷で開催され、所定の議案はすべて可決承認された。

総会後の講演会は、今回で7年目となる櫻井よしこ氏を講師に迎え、「今、私たちが出来ることはなにか」と題して行われ、民主党政権について歯切れのよい口調で語り約100名の出席者も熱心に聴き入っていた。

## 理事会開催

12月15日 意見交換  
2月19日 報告事項

3月26日 議案第5号  
「テレビの地デジ対応について」  
原案通り承認

## 青経会 例会



3月の例会は、当会のメンバーである、(株)騎西屋の代表取締役吉澤啓介氏に講師をお願いした。食品小売業界の現状や大手スーパーの傾向、及び若者に見られるイン

ターネットを媒体としたすごもり消費の動き等の分析や、それに対する当社の対策等日常の業務に即した内容の話であり業界の現状が良く理解できた勉強会であった。

## 環境美化の推進

平成20年11月に制定した「環境美化規定」では、「組合員は企業の敷地内外の美化に努め、毎月5日から10日の一日を清掃の日とする」とあります。しかし、清掃の実施状況にはバラツキがあり、長期間歩道や植込みに空缶・空瓶等が投げ捨てられたままの所もあります。

団地内美化や景観維持の観点から、職場環境の一層の向上に御協力をお願い致します。

また、出入りの業者の方に対する依頼も徹底くださるようお願い致します。



## 路上駐車禁止

当組合の環境保全協定第3条2項に、「路上駐車は行わないものとする。やむを得ず一時駐車をする場合、組合員施設の入り口を避けるなど、交通障害とならぬよう配慮するものとする」とあり、組合員企業車両及び従業員車両の路上駐車を禁止しています。

しかし、駐車場を利用せず路上に駐車している車両が増えていきます。

路上駐車は、お互いの迷惑になるばかりでなく事故の原因にもなります。

組合の共同駐車場も利用出来ますので、必要な方は事務局宛てお申込み下さい。

## 組合員の動き

### 代表者変更

タキゲン製造株式会社  
杉本 直之氏から  
瀧源 愛子氏へ

平成21年12月21日

日本ハム東販売株式会社  
小林 利幸 所長から  
前田 正司 所長へ

平成22年4月1日

### 社名変更

株式会社大和 から  
大和屋株式会社 に変更

平成22年3月21日

### 脱退

日昌株式会社

平成22年2月28日

株式会社三和商研

平成22年3月31日

埼玉物流株式会社

平成22年3月31日

## 事務局日誌

- 1月12日 青経会スタッフ会議
- 15日 組合新年会
- 22日 BCP実践研修1
- 27日 青経会総会
- 2月12日 正副理事長会議
- 17日 設備検討小委員会
- 19日 理事会
- 24日 中金総会・講演会
- 26日 BCP実践研修2
- 3月2日 青経会役員会
- 9日 青経会研修例会  
静岡県中央会来組
- 10日 総務委員会
- 11日 中小機構来組
- 17日 設備検討小委員会
- 19日 正副理事長会議
- 26日 理事会
- 4月8日 広報委員会